



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本トリム
コード番号 6788 URL <http://www.nihon-trim.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森澤 紳勝
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 尾田 虎二郎

TEL 06-6456-4600

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家様向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	7,438	11.4	1,535	15.7	1,621	18.8	1,028	58.8
27年3月期第2四半期	6,678	0.9	1,327	△23.3	1,365	△29.6	647	△53.4

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 1,004百万円 (74.6%) 27年3月期第2四半期 575百万円 (△55.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	121.50	121.43
27年3月期第2四半期	76.26	76.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	22,089	16,259	71.7	1,879.92
27年3月期	21,506	16,163	72.8	1,841.01

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 15,833百万円 27年3月期 15,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	50.00	50.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,100	17.7	3,070	36.3	3,150	24.6	1,950	49.2	229.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	8,656,780 株	27年3月期	8,656,780 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	234,410 株	27年3月期	149,610 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	8,463,564 株	27年3月期2Q	8,493,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、水素水市場の拡大を背景に、上半期整水器販売台数・売上金額が過去最高を記録し、引き続き好調を維持しております。

水素水は今や各メディアで頻繁に取り上げられ、市場には多くの企業が新規参入されるなど、外部環境が大きく変化しております。水素水への健康効果・美容効果への期待から、当社の電解水素水も非常に注目を集め、お問い合わせも多数寄せられております。当社の電解水素水整水器は、厚生労働省所管の「医薬品医療機器等法」で認証を受け、「胃腸症状の改善」の効果が認められた管理医療機器です。政府は「国民の健康寿命の延伸」を掲げ、その一環として「健康経営」を推奨しており、電解水素水整水器が躍進する環境が整ったと確信しております。電解水素水整水器は健康効果に加え、極めて低コストであること（主力製品であるトリムイオンHYPERでは5年間の使用で1リットル当たり約6円）や、エコへの貢献という長所も有しており、水素水市場拡大の中で、水素ガスバブリングなどの方法で生成された水素水と電解水素水の違いを訴求し、整水器市場の拡大、当社事業の飛躍的成長を実現してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は7,438百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は1,535百万円（同15.7%増）、経常利益は1,621百万円（同18.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,028百万円（同58.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[ウォーターヘルスケア事業]

<整水器販売事業>

職域販売部門DS（DS・HS事業部）では販売効率の指標である説明会一回当たりの販売台数が、前年同期比で約22.0%向上し、過去最高の水準となりました。取付・紹介販売部門HS（DS・HS事業部）では展示会やイベントへの積極的参加により一人当たり販売台数が前年同期比18.5%増となり、引き続き過去最高を記録しております。卸・OEM部門（業務部）では、特に卸販売が好調で、新規代理店獲得やTVショッピングなどにより販売台数が前年同期比130.5%増となりました。また、OEM販売につきましては、既存代理店の販売拡大に努めるほか、下期より新規大型OEM案件の稼働を予定しております。

ストックビジネスである浄水カートリッジ販売につきましても、整水器ユーザーの増加やお客様フォローの強化により、販売本数は前年同期比17.2%増と順調に拡大しております。

TV、雑誌など様々な媒体での露出増加も寄与し、各部門において順調に販売拡大しております。

<農業関連事業>

農業分野では、電解水素水を作物栽培に応用することで、高品質・高付加価値農業の実現を目指しております。本年7月には、高知県、南国市、JA南国市、高知大学と当社の5者で「還元野菜プロジェクト」推進連携協定を締結し、産官学協同で実証、普及促進を進めております。現在、全国での農業用整水器設置数は着実に増加しております。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は7,032百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益は1,549百万円（同19.6%増）となりました。

[医療関連事業]

再生医療関連事業では、将来の疾病や再生医療・細胞治療に備えてさい帯血を長期保管するサービスを主事業としております。本年9月末時点の保管数は35,736件となり、順調に拡大しております。国内での臨床研究が実施され、難病治療への期待の高まりを見せており、今後も着実に保管数を伸ばしてまいります。

遺伝子関連事業では、複数の遺伝子や多くのサンプルを同時解析できる次世代型遺伝子検査機器向け製品の開発に注力しております。

電解水透析事業では、透析治療に伴う倦怠感、掻痒感、透析低血圧などの副作用を緩和し、透析患者のQOL向上を目的に、透析液の希釈水に電解水素水を応用する「電解水透析®」の普及を進めております。製品開発にも注力しており、下期には従来機種よりもコンパクトな設計で設置制限を緩和し、清浄化機能の強化や溶存水素生成能力を向上させた新型装置のモニター販売を開始する予定で、次期以降の本格的な拡販開始を目指して進めております。

以上の結果、医療関連事業の売上高は405百万円（前年同期比6.3%減）、営業損失が13百万円（前年同期は32百万円の利益）となりました。

当社グループは、将来の持続的成長に向けた重点課題として、整水器販売事業をはじめ、農業・医療などの新規領域の事業拡大を加速させるほか、先端医療分野の拡大にも注力してまいります。また、海外進出やM&Aを視野に入れた新規事業分野への参入に向けても積極的に取り組んでまいります。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は22,089百万円となり、前連結会計年度末に比べ582百万円増加（前期比2.7%増）いたしました。主な要因は、現金及び預金425百万円、受取手形及び売掛金166百万円が増加したことによるものであります。

負債は5,829百万円となり前連結会計年度末に比べ486百万円増加（同9.1%増）いたしました。主な要因は、流動負債のその他（未払消費税）108百万円の減少がありましたが、支払手形及び買掛金217百万円、長期借入金182百万円及び未払法人税等166百万円が増加したことによるものであります。

純資産は16,259百万円となり前連結会計年度末に比べ96百万円増加（同0.6%増）いたしました。主な要因は、配当金の支払425百万円、自己株式の取得301百万円、子会社株式追加取得による資本剰余金の減少116百万円及び非支配株主持分の減少76百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益1,028百万円を計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年4月27日「平成27年3月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,747,862	11,172,897
受取手形及び売掛金	1,801,930	1,968,863
割賦売掛金	2,444,698	2,443,400
製品	151,124	173,283
原材料及び貯蔵品	368,272	423,643
その他	294,530	285,787
貸倒引当金	△41,049	△42,948
流動資産合計	15,767,369	16,424,926
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,508,559	2,506,114
その他(純額)	1,038,661	986,877
有形固定資産合計	3,547,220	3,492,992
無形固定資産		
のれん	631,599	614,528
その他	155,468	129,840
無形固定資産合計	787,067	744,368
投資その他の資産		
その他	1,624,096	1,649,237
貸倒引当金	△219,460	△222,251
投資その他の資産合計	1,404,635	1,426,986
固定資産合計	5,738,923	5,664,347
資産合計	21,506,293	22,089,273
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	566,871	784,822
未払法人税等	469,882	636,619
賞与引当金	129,565	134,928
製品保証引当金	15,000	16,000
返品調整引当金	56,000	60,000
その他	1,399,251	1,300,959
流動負債合計	2,636,570	2,933,329
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	944,160	1,126,560
役員退職慰労引当金	157,755	163,945
退職給付に係る負債	150,907	162,495
その他	1,153,183	1,142,958
固定負債合計	2,706,007	2,895,958
負債合計	5,342,577	5,829,288

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	972,532	856,479
利益剰余金	14,018,199	14,621,199
自己株式	△295,234	△597,122
株主資本合計	15,688,094	15,873,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,514	8,418
為替換算調整勘定	△43,496	△55,112
退職給付に係る調整累計額	8,661	6,927
その他の包括利益累計額合計	△26,320	△39,766
新株予約権	1,637	2,833
非支配株主持分	500,304	423,764
純資産合計	16,163,715	16,259,985
負債純資産合計	21,506,293	22,089,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,678,085	7,438,811
売上原価	1,732,611	1,865,273
売上総利益	4,945,473	5,573,538
販売費及び一般管理費	3,617,747	4,037,839
営業利益	1,327,725	1,535,698
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,558	3,472
不動産賃貸料	49,130	47,487
持分法による投資利益	9,951	10,806
為替差益	—	21,105
保険解約返戻金	—	13,197
その他	5,476	3,181
営業外収益合計	68,117	99,250
営業外費用		
支払利息	2,917	3,376
社債利息	902	526
為替差損	16,538	—
貸与資産減価償却費	5,826	5,693
その他	4,236	3,408
営業外費用合計	30,422	13,004
経常利益	1,365,420	1,621,944
特別損失		
貸倒引当金繰入額	148,895	—
特別損失合計	148,895	—
税金等調整前四半期純利益	1,216,524	1,621,944
法人税、住民税及び事業税	531,370	606,736
法人税等調整額	116,491	△13,347
法人税等合計	647,861	593,389
四半期純利益	568,662	1,028,555
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△79,090	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	647,753	1,028,358

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	568,662	1,028,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	965	△95
為替換算調整勘定	6,024	△22,907
退職給付に係る調整額	274	△1,733
持分法適用会社に対する持分相当額	△513	901
その他の包括利益合計	6,751	△23,835
四半期包括利益	575,414	1,004,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	652,488	1,014,912
非支配株主に係る四半期包括利益	△77,074	△10,192

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,216,524	1,621,944
減価償却費	123,242	97,327
のれん償却額	17,070	17,070
新株予約権の増加額	738	1,196
貸倒引当金の増減額(△は減少)	165,407	4,690
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,298	5,363
受取利息及び受取配当金	△3,558	△3,472
支払利息	2,917	3,376
社債利息	902	526
持分法による投資損益(△は益)	△9,951	△10,806
為替差損益(△は益)	16,538	△21,105
割賦売掛金の増減額(△は増加)	82,273	1,297
売上債権の増減額(△は増加)	13,008	△166,932
たな卸資産の増減額(△は増加)	△83,998	△75,105
仕入債務の増減額(△は減少)	2,411	217,951
未払消費税等の増減額(△は減少)	38,690	△108,673
その他	19,622	69,794
小計	1,611,138	1,654,443
利息及び配当金の受取額	3,645	3,538
利息の支払額	△3,809	△2,305
法人税等の支払額	△679,279	△452,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	931,694	1,203,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	500,000	-
有形固定資産の取得による支出	△112,757	△21,368
無形固定資産の取得による支出	△21,036	△802
関係会社株式の取得による支出	△9,203	-
その他	17,265	1,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,268	△520,282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	182,400
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△36,000	△182,400
預り保証金の返還による支出	△16,408	△16,408
自己株式の取得による支出	△176,955	△301,888
配当金の支払額	△425,660	△423,003
その他	△28,198	△23,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	△683,223	△765,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,067	7,189
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	317,672	△74,965
現金及び現金同等物の期首残高	8,614,255	10,747,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,931,927	10,672,897

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社(株)トリムメディカル ホールディングスは、平成27年9月30日付で、連結子会社(株)ステムセル研究所の株式を追加取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が116,052千円減少しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の2つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務を行っております。「医療関連事業」は、医療・予防医療分野での研究開発事業、遺伝子診断分野及び再生医療分野における事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ウォーターヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,032,836	405,975	7,438,811	—	7,438,811
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,032,836	405,975	7,438,811	—	7,438,811
セグメント利益又は損失(△)	1,549,206	△13,507	1,535,698	—	1,535,698

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。